

山下の部屋 初級クラス 10月8日

今日は勉強時間についてお話しします。社労士試験の1年間の勉強時間は500時間～1000時間といわれています。当然、その方の環境や、事情により勉強時間も異なります。受験の最初の目標は勉強時間数を増やすことです。社労士受験生の多くは仕事と勉強を両立されている方です。

■勉強時間は作り出す

1日24時間－労働時間10時間－睡眠7時間⇒7時間が残る（理論上は）

このうち毎日、2時間～3時間の勉強時間が必要となります。この勉強時間の積み重ねが合格でしょう。これから8月まで日常生活の一部に受験勉強が加わるのです。勉強時間の中心が過去問に当てます。

■過去問

予習、復習、過去問と一連の勉強が始まります。講義は基本知識を学びます。そして、本試験問題で「どう出されたか?」「出題傾向は」「答えは」・・・等を過去問でみましょう。過去問の重要性は、他の資格試験も同じです。問題を解き続けると、数年に1度繰り返し出題されている箇所に気が付きます。この気づきが勉強です。繰り返し出題されている法律条文はしっかりと押さえましょう。

★POINT

過去問勉強は出題の内容をテキストと対比することから始めましょう。どのように出題したのか? 誤り問題はどこが誤りなのか? これを繰り返していくと、受験で出題されている傾向がわかります。そのときのヒントが条文番号です。例：労基法は、法律条文と通達がよく出題されます。施行規則、法附則の出題は限られています。